

フッ素樹脂でポリ2フッ化ビニリデン(PVDF)のような
 異種物質との親和性が極端に少ない樹脂でさえも、メチレン
 基(-CH₂-)さえ存在すれば帯電防止性能を確実に付与が
 可能になる、分子化合物型帯電防止剤が完成した

《製品名》：*Biomicelle BN-105* (バイオミセルBN-105)

《 実例 》 265℃で帯電防止性能を付与した成形物の成功例

PVDFに1.0%と2.0%を添加した成形物の帯電防止性能を測定

《 測定結果 》

(23℃、50%RH)

製品	測定項目	表面抵抗率 (Ω/□)	帯電減衰 半減期(sec)	摩擦による 紙片吸着特性
帯電防止剤無添加 PVDF射出成型品	: 写真①	> 10 ¹⁵	> 60	吸着有り
BN-105、1.0%添加品		1.3 × 10 ¹¹	1.05	紙片吸着 無し
BN-105、2.0%添加品	: 写真②	5.0 × 10 ¹⁰	0.61	"

★双方のPVDF試験体は表面抵抗率が絶縁体域を示す性能効果と同時に、帯電減衰率も帯電し難い数値を示している。



写真①

無添加品
 帯電するポリ4フッ化エチレン
 (PTFE) 帯電する状態



写真②

BN-105、2.0%添加品
 ポリ2フッ化ビニリデン
 (PVDF) 帯電しない状態



写真③

①、②、を重ねた状態にすると
 帯電防止性能は同時に付与される

成形温度265℃で成功品